

都心再生に向けた市民提案

浜松市は平成 19 年 4 月に政令指定都市となり、これまで知られてきたような産業都市としての顔だけでなく、政令指定都市にふさわしい都市機能・形態を備えていることが前提となっています。

したがって、政令指定都市浜松にとって、全国に誇れる顔づくりが必要であることは言うまでもありませんが、残念ながら現在の浜松は全国に誇れる顔を持った都市とは言えないのではないのでしょうか。平成 13 年から幽霊ビルとなっている旧松菱百貨店は現在でもそのままの状態であり、多くの市民に不興を買っています。また、郊外の大型店が次々とでき、都心には気軽に買い物を楽しめる店が少ない、ブラブラできる場所がない、など非常に魅力に乏しい都心であると見られています。

このような状態は、都心だけの問題ではなく、浜松市全体の問題でもあります。都心はその都市の顔であり、心であるはずですが、心が病んでいる人は健康であるとは言えないのと同じように、都心に魅力がなく、活力がない都市は健全であるとは言えません。政令指定都市にふさわしい浜松市として一層の発展を目指すためには、都心問題に真剣に取り組むことが必要です。

我々はこのような認識に基づき、数回にわたって都心問題について議論をしてきました。そこでの議論では当面行うべきものから長期的視点で取り組むべき内容まで、多岐にわたる意見が出されています。これらの内容を踏まえて、我々は都心再生のために取り組むべき事項を提案します。この提案をもとに都心再生に向けた努力が行われることを期待しています。

平成 22 年 9 月 25 日

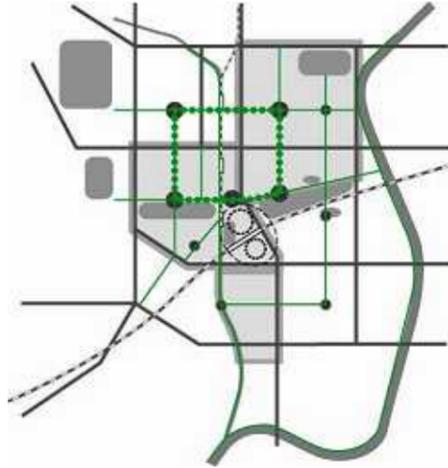
市民 都心再生フォーラム実行委員会

- 提案 1 浜松市の「顔」として積極的に都心再生を目指すべき
- 提案 2 郊外部との関係など全市的な政策の中で都心問題を考えるべき
- 提案 3 都心再生に関する市民の意見を汲み上げる場を設けるなど、市民の意見募集を行い、合意形成プロセスを大切にすべき
- 提案 4 都心再生には行政だけでなく、地権者、商業者、市民が協力して取り組むべき
- 提案 5 都心再生には市民や街の住民による草の根の活動の活発化を図るべき
- 提案 6 買い物、観光、食事、文化などが複合的に展開する都心を目指すべき
- 提案 7 大型店だけでなく魅力ある個店がたくさんある都心を目指すべき
- 提案 8 文化的な施設を集積するなど、文化の香り高い都心を目指すべき
- 提案 9 公共交通網の集積を活かして、その利活用を進めるとともに公共交通網の一層の拡充を目指すべき
- 提案 10 美しく絵になるような都心を目指すべき
- 提案 11 緑を増やし、休憩や交流のための広場を作るべき
- 提案 12 ヒューマンスケールのまちの再生、歩いて楽しい都心を目指すべき
- 提案 13 新しいことにチャレンジできる都心を目指すべき
- 提案 14 松菱跡地問題については早急かつ積極的に取り組むべき
- 提案 15 夜間人口の回復を目指すべき
- 提案 16 既存の施設のネットワーク化を図り、都心の魅力を高めるべき
- 提案 17 ユニバーサルデザインを進め、高齢者や障害者でも来たくなる都心を目指すべき
- 提案 18 魅力あるイベントの開催により、ワクワクする都心を目指すべき

都心再生構想の一案（都心再生の具体的内容を一案として示しています）

【歩行者が楽しく快適に回遊できる歩行者ネットワークを形成する】

人が集まる既存施設間の連絡を強化し、楽しく歩ける回遊ネットワークを形成する。
 ネットワークの中心を口字型に形成する。
 基本的には既存の道路などを活用し、歩行者が快適に、楽しく、のんびりと歩ける工夫をする。
 中心の口字型ネットワーク以外は、土地利用の状況に応じて段階的に整備を進める。



【都心を代表する大モールを形成する】

鍛冶町通り～アクトシティまでを都心の大モールとして育成していく。
 大モール形成のために、駅前の再整備、旧松菱百貨店跡地の再開発を進め、魅力ある商業空間が連続した東西方向の軸を形成する。
 大モールは歩行者が歩きやすい空間も合わせて整備する。



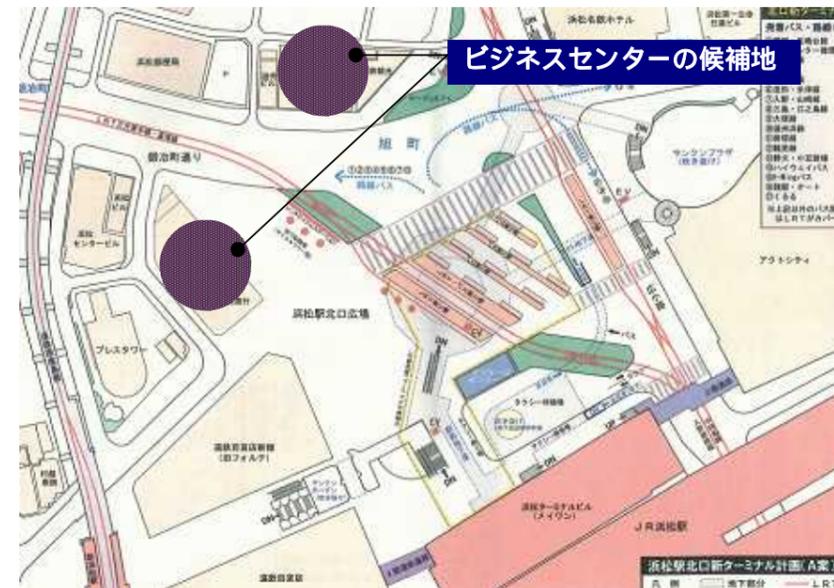
【人が集まり、交流する『プラザ』を確保する】

歩行者ネットワークの形成に合わせて、人溜まりとなる広場や公園を配置する。
 人々が交流するビジネスセンターを駅前に配置し、浜松の業務機能の顔として育成する。
 これら人が集まり交流する空間を『プラザ』と名付け、都心内で多くの交流が生まれ、またプラザを活用して生活感のある都心として再生されることを目指す。



【浜松駅前を大改造し、公共交通と歩行者を中心とした拠点とする】

駅前広場を含めて浜松駅全体を大改造し、歩行者が平面で街なかと接続できるようにする。
 バスや一般車両は地下化し、地上面は歩行者と新しい公共交通機関による広々とした空間とする。
 改造にあわせて浜松のビジネス拠点となるセンターを整備する。

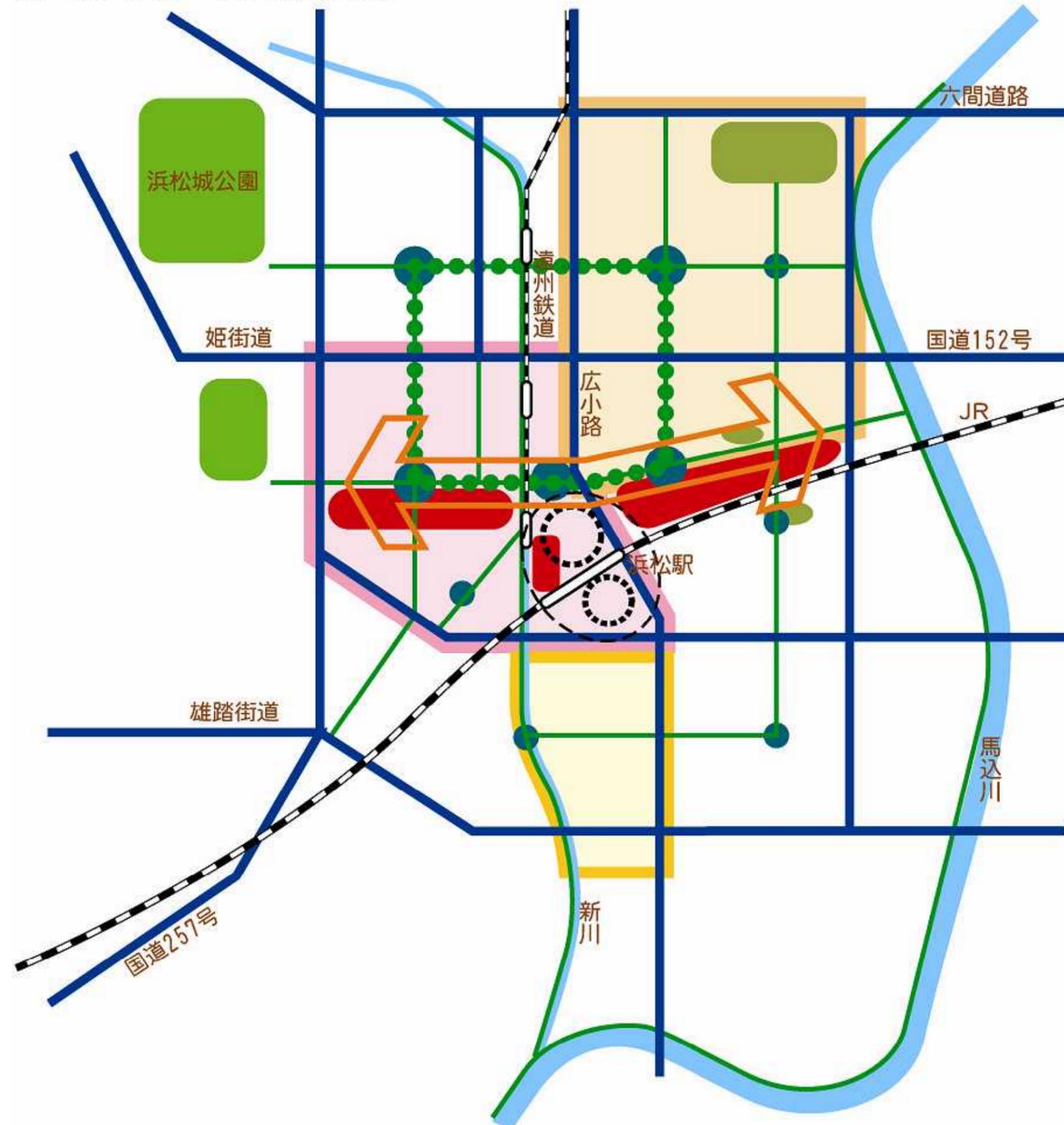


浜松型次世代交通システムの提案 H22.5.10（都市交通デザイン研究会）
 ビジネスセンターの候補地は上記提案に加筆

都心再生へのシナリオ

	各ステージでの目標	基本的な考え方	行政	商店街・地権者	企業・商工会	市民・NPO
1st stage	<p>都心再生に向けた官民の協力体制の構築 松菱跡地の緊急整備 都心再生構想を実現するためのモデル事業（プラザ整備を含む再開発事業など）の推進 既存の道路空間や空地などを活用したイベントの活発化 浜松駅の再整備に向けた準備</p>	<p>第1ステージは、都心再生への基礎固めを行う段階であり、しっかりとした体制の構築が最も重要である。 また、都心再生が動き始めていることを市民に理解してもらうことが必要であり、その意味から松菱跡地の整備は効果が高い。</p>	<p>都心再生に向けた積極的な姿勢の明示 松菱跡地開発の主導的役割 モデル事業への取り組み 浜松駅の再整備に向けた関係機関との協議の開始、整備に向けた体制づくり</p>	<p>都心再生に向けた行政や企業との推進体制への参画 商業活性化に向けた店舗の積極展開 イベントの主催・協力 松菱跡地開発への協力</p>	<p>都心再生に向けた行政や商店街との推進体制への参画 イベントの主催・協力 松菱跡地開発への協力</p>	<p>都心再生への積極的な発言 イベント・買い物などでの都心の利用</p>
2nd stage	<p>松菱跡地整備とモデル事業による波及を受けた市街地整備の推進 歩行者幹線ネットワークの整備と歩行者空間を活用したイベントの活発化 浜松駅の再整備に向けた計画策定 新しい公共交通の導入に向けた準備</p>	<p>第2ステージは、第1ステージの波及効果を受け、都心再生への動きが本格化する段階である。 したがって、第1ステージの進捗状況によって具体的な内容も異なってくる。</p>	<p>都心再生に向けた市街地整備（プラザ整備を含む再開発事業など）の指針の作成と指針に基づく市街地整備への支援 浜松駅の再整備への取り組み開始 新しい公共交通の導入に向けた取り組み（具体計画の作成、地元との協議、市民への説明など）</p>	<p>商店街として建物共同化やイベント開催、看板のデザイン化など独自のまちづくりの推進 土地・建物のオーナー同士による入居テナントの調整システムの構築</p>	<p>行政と連携した都心整備へのテナント誘致や費用面からの支援</p>	<p>都心に関心を持ち、都心を訪れる機会の拡大 イベントなどへの参加・協力</p>
3rd stage	<p>浜松駅前広場の大改造による歩行者と公共交通優先の広場の整備 鍛冶町通りへの新しい公共交通の導入 新しい商業需要や業務・サービス需要に対応した市街地整備の推進 歩行者ネットワークの整備</p>	<p>第3ステージは、都心再生の仕上げと次世代への投資を行う段階である。 この段階では都心の望ましい姿を具体化するために、大きな投資も行いながら、あるべき都心像の実現を図る。</p>	<p>浜松駅前広場の大改造の推進とビジネスセンターの整備 新しい公共交通導入に向けた取り組み（路線整備、運行支援にかかる費用負担） 商業者や市民と協力した歩行者ネットワークの整備</p>	<p>都心の賑わい維持・創出に向けた活動の拡大 都心再生のための商店街ルール作成</p>	<p>浜松駅前ビジネスセンターを活用した新たなビジネス展開 都心への積極的な投資</p>	<p>都心をフォールドとした様々な市民活動の展開</p>

都心再生構想案



提案1 浜松市の「顔」として積極的に都心再生を目指すべき

- ・ 100万都市にふさわしい顔となる様、箱物ばかりでなく歴史と文化を交えたアイディア、忠犬八公とか家康の像とか子供から老人までが親しみを感じるモニュメント。
- ・ まずは「健康と安全と文化」外部の人からもりピータとして又訪れたい街。
- ・ 都心 都市の顔(機能が集積したところ) 市民にとって魅力あるところ。
- ・ 中区の中心市街地以外に住む人(他県・他市町含む)が立ち寄りたくなるようなまちづくり。

提案2 郊外部との関係など全市的な政策の中で都心問題を考えるべき

- ・ 今、市の中心部さびれて久しい。中心部の地価や建築物の解体・再生を考えると、極めて困難な問題がありますが、中心市街地をイオンモール、プレ葉ウォーク、SEIYU サンストリート浜北のように大型ショッピングセンターにしてしまうなどの決断が必要なのでは？それは子、孫そして先まで見透かして。
- ・ 郊外に住む人が郊外のみで生活できるように誘導した今までの政策(道路、大型店)を反省し、都心を含めた全体で政策を考えなければいけない。
- ・ 「都心とはどういところであるべきなのか」、この事をはっきりさせてから考えたい。
- ・ 行政はやらないけれど、取り組む・取り上げる必要。
- ・ 魅力的な都心とは様々なお店があり、多くの人が歩く街だと思ふ。浜松がそうなるためには再開発する場所を限定し、活性化させることが必要、そのために市が市民の意見を十分にとり入れ再開発する場所を決めなければならない。
- ・ 都心、郊外、山間地の将来像、今後の市民の行動方針のコンセンサスを得る場。
- ・ 郊外の出店規制などの検討はやめて欲し。ジャスコとガチで勝負して勝てる街を作るのが本当だと思う(百億単位で浜松に投資してくれる企業に水をかけておいたすのはまったくの間違いと思ふ。)
- ・ 狭義の都心だけでなく鴨江・広沢など周辺地域も含めて一つの生活圈ととらえて考え方を広くする。
- ・ 緑化、建物の再利用、維持費のかかる物や必要ないものは解体しスリムにする。

提案3 都心再生に関する市民の意見を汲み上げる場を設けるなど、市民の意見募集を行い、合意形成プロセスを大切にすべき

- ・ 討論
- ・ 市民の同意形成のプロセスづくり。
- ・ 人が集まる所が都市、人を集める所が都心。そのために市民がもっと話し合う機会を作り、それを発信しよう、その後、実験事業をどんどんしていく。
- ・ 市民、皆がどう考えているかを知る事、共有する事、発言する事。
- ・ オープンな意見交換ができる場(又は見える)を行政が設けて定期的に関くと良いと思ふ。
- ・ 浜松人(遠州人)特性を見出し、大多数の人が満足する事を見出すべき、それをベースに街づくりを創造する。
- ・ 市民各々の意見を極力くみ上げ、浜松オリジナル色を出し老若男女皆が楽しめる。
- ・ そもそも本当に困っているのかを明らかにする(困ってないから同意形成ができていないのでは?)。
- ・ 具体的に困っているコトがあるなら、ある意味やることは単純になるのでは？
- ・ 今までのZaZaや松菱、ヨーカドーの再生失敗 曲折の経緯をオープンにする。
- ・ いろいろと自分なり意見、考えがありますが今の浜松の現状では何を言っても無駄なような気がするので前向きに考えてもむなししいというのが本当の気持ちです。
- ・ 市・市民が「あの人は だ」とレッテルをはって印象付ける悪いくせ(意識)が発展をさまたげている。

提案4 都心再生には行政だけでなく、地権者、商業者、市民が協力して取り組むべき

- ・ 市民中心でそれを行政と組んで進める(ビック企業も参加)
- ・ ワクワク、ドキドキが必要。行政、民間が共にワクワク、ドキドキを集める努力をそれぞれがするべき。
- ・ 市を含めて皆が、地権者、商業者、市民が協力する。
- ・ 行政 先進地広範囲・調査・分析、市民 先進地スタディ結果の理解・協力。
- ・ 魅力的な都心とは、ビジネスも買い物もいろいろなのが便利に快適にでき美しく誇れる都心、その為には、土地の所有者が、土地の利活用を図ることが基本！しくみや協体制度が大事だと思ふ。
- ・ 人が自由に交流する、環境に負荷をかけない空間、経済活動が、活発で情報交換を行ないやすい、老若男女問わず暮らしやすいデザイン、利害関係者、市民、行政が連携し意見を集めながら、各々でハード、ソフト面を改善していく。

提案5 都心再生には市民や街の住民による草の根の活動の活発化を図るべき

- ・ 魅力ある都心を再生する為に市民が集まるべき。
- ・ 理想論の時代はもう終わり、理想論は今まですべて失敗、都心再生や魅力的な都心づくりはそこに住む方々の街を愛する気持ちがなければ作れない。街の再生は人の再生、もっと草の根の活動が重要、毎日朝掃除するとか話し合いを多く持つとか、だと考えます。理想論はみんな言います。
- ・ 心を扱うには、笑顔が必要です。笑ってしまえば又、作り笑いでもいいから笑えば後から心がついてきます。人の心はワクワク、ドキドキ、楽しさを感じると思ふ。ワクワク、楽しい心が都の心。都心だと思ふ。クニホメと言う言葉があります。国をほめること、今はマチホメ、自分が住んでいる街が好きで好きで本当に好きならこのままの状態から変える必要があります。笑いの街、笑顔がある街そんな浜松市になれば他から色々な人や物も寄ってくると思ふ。笑う門には福来たる。楽しいから笑うのではなく、笑いがあるから楽しいと思ふ。勿論市民が作りあげていきます。
- ・ 市民が街を知るべきだと思ふ。
- ・ 市民一人一人が今回のようなまちづくりに対する意見を言える場に出向き関心を持つ。
- ・ 区画整理により借家人(店)が町から追い出され、残った地権者が総不動産屋になり、コミュニティの崩壊により市民による提案ができにくくなっています。先ず、まちづくりに関わる色々な仲間、グループを形成することが先決です。
- ・ クラスタという言葉が以前ありましたが、コンパクトに面積的にも収まる、地域コミュニティ機能が崩れていたらダメだと思ふ(ソフト面の方が重要かと思ふ)。

提案6 買い物、観光、食事、文化などが複合的に展開する都心を目指すべき

- ・ 街の中に住んでいる人が、日常の買い物の全てが街中で済ませられない都市は変だ。松菱、西武、ヨーカドーの3店があって選択技の多かった時代は街に魅力があった。
- ・ 市外からも人が集まってくるような市になってほしい(買い物、観光、食事)
- ・ かつて「松菱」に求めたものは「買い物」だけでなく映画あり、展示会あり、遊園地ありであった。
- ・ 美しい風景を歩き、様々な年齢層の人が買い物、文化的鑑賞、勉強(講座)をして過ごせる場所。
- ・ それぞれの人々が多く集まり色々な買い物等が出来る様な広場、場所を作ることが大切です。
- ・ 大手事業者による再開発、スーパーや食料品店など居住者向けの店の整備、地元農水産物の直売所の整備、大手企業の本社機能(管理機能=オフィス)の誘致、都心と周辺地区への人口集中、規模に見合った再開発、市民交流施設、

提案7 大型店だけでなく魅力ある個店がたくさんある都心を目指すべき

- ・ 文化的な活動を支える中心として機能する事が必要である。商業的な集積も重要であるが、特に魅力的な個人店を増やしてゆく事が必要。
- ・ 市民の皆が欲しいと思う物販店をデパートでなく、少し前まで存在していた個人の店づくり、老人が要求するものを考えろ。
- ・ 箱ものを作ることよりも、個店を並べた街作りが必要。
- ・ 対話ができる接客体制が良い、そういうお客さんが多いではないか？アフターの件も後々どこへ行っても良いかわからない、個人店なら代々受けつがれているから・・・それができるのではないか？
- ・ 商業者は物売りだけでなく、「何か人が来て楽しめる事柄を考えて！」。
- ・ 浜松駅から市役所まで直線で1km弱、歩いて10～15分(とにかく10～15分は近いはずです)これを「遠い」と感じないようなまちづくり(通り沿いに魅力的な店などがあれば近くに感じる)。
- ・ 商店にたとえると、浜松は専門店ではなく、雑貨屋を目指せ。

提案8 文化的な施設を集積するなど、文化の香り高い都心を目指すべき

- ・ まず、人が行きたいと思ふ様な場所があることが必要と思ふ。コミュニケーションの場であるべき街中に文化施設や憩いの場が無さすぎて潤いのない街になっています。賑やかに騒ぐばかりが街づくりではないと思ふ。私としては街中に、どこにも負けない立派な美術館があれば、そこに憩いの場所があれば人は集まり質の高い文化も生まれます。
- ・ 歴史と文化を大切に後生に残す街、物づくりの歴史、出世城としての歴史、楽器や音楽の市民レベル(コーラスとかがさかんです)での取組の歴史。
- ・ 安いお金で場所を借りられるスペースのある街、音楽の練習、個人展、意見交換の場。
- ・ 新しいものを取り入れるよりも、今ある浜松の魅力的なものを、さらに生かしていけるようにし、音楽や美術など、市民の意見をもっと取り入れるべき。
- ・ 市の文化施設、行政施設を都心に集積する事により機能的に人の賑わいをつくれれば時間を経るに従って感性的賑わいが出てくると思ふ。

提案9 公共交通網の集積を活かして、その利活用を進めるとともに公共交通網の一層の拡充を目指すべき

- ・ 楽しく行きたくなる場所、キーワードは交通網の整備(1.駐車場(トランジットモール)2.LRT)
- ・ 都心(市役所 砂山など含む)の車進入なし、LRTの導入。
- ・ 交通制度化。
- ・ LRTなど公共交通の整備、駅の整備。
- ・ 駐車場の料金が高いので中心地へ行くのを迷う。

提案10 美しく絵になるような都心を目指すべき

- ・ パリのように360度絵になる街。
- ・ 郊外型店とは異なり、都心の中の自然、緑豊かな、空間の中の洗練された街を創りたい。
- ・ 美しく誇れる場所になるよう整備しそれを維持する。

提案11 緑を増やし、休憩や交流のための広場を作るべき

- ・ 緑を増やし浜松駅と浜松城を緑道で結ぶ。
- ・ 一番求めたいのは市民交流広場(施設)と思う。
- ・ 花と緑の街をずっとテーマとして生かし続けると良いと思います。
- ・ 都心の中の自然(緑)
- ・ 街なかに裸足で芝生のグラウンドと木かげのある、風揚げができるくらい大きな公園。

提案12 ヒューマンスケールのまちの再生、歩いて楽しい都心を目指すべき

- ・ 楽しいところ(戦後のヤミ市は良かった)。インフラのみ提供、自然発生的に、毎日がホコ天、旧松菱は壊して空き地にしてはどうでしょう。
- ・ 楽しく、賑わいのある場所。コンパクトシティの形成。
- ・ 昼間人口の多い都心。商業だけでなく(も含めて)回遊、滞在可能な街を作る。
- ・ 単なる通り道でなく、市民が何かを得る為に必要な要素がなくてはならない。
- ・ 多くの人が集まり、賑わう場所、夢を見られる所、元気になる街、よそから来た人の方が元気いい。
- ・ 住民が交差できる所(都心に車の交差点はいらぬ、人の交差点をつくる)
- ・ 歩いている人が多い、賑わいのある街。
- ・ 歩く楽しさを感じる街に、車に便利すぎます。
- ・ パリに少し滞在した事があり、物価は内税で浜松と変わらない(高級店は別でしょうが)美術館は60才以上と学生は半額、地下鉄とバスはオレンジカードで1ヶ月50ユーロ位で乗り放題でした、公共機関は安くして、緑を増やし、カフェがあれば楽しく集える。
- ・ 経済と生活のバランス、人々のワーク・ライフ・バランスを支える都心であるべきと思う、人間性を回復する場所。
- ・ 中央部に人びとが集まる場所が1ヶ所又は2,3ヶ所あれば良いと思います。
- ・ 必要があってはじめて人は集まる、魅力があってはじめて人は集まる。
- ・ 道路が広すぎ。若い人10代20代の素直な意見が大切だと思います。
- ・ 区画整理をやりすぎのため人間が都心から離れていった。
- ・ 人の流れ(都市軸、交通軸)を明確に整備。
- ・ 現在の中心(ザザ、駅北)と東街区を回れる導線整備。
- ・ 街の中に地下道、分離帯(道路)があり車中心になってしまい、素通りされてしまっているの、車、歩行、太陽光、風力で発電し他の市町村から視察に来る様な市にして欲しい。

提案13 新しいことにチャレンジできる都心を目指すべき

- ・ 何かやりたい人は多いと思います。しかし、家賃は高いし、何かやりたい人に対して入り込む余地がない。もっと家賃を下たり(いろいろなことをやりたい人を応援してみても・・・?) やりたい人を応援する「人」がみえてこない。
- ・ 最近の若い者の行なう、けしからんことを大人は見守る。説教をせず、処分もせず、そのかわり利用して商売する。

提案14 松菱跡地問題については早急かつ積極的に取り組むべき

- ・ 美術館のアンケートでも書いたのですが、美術館を街中に持つてくるようにとの意見を書きました。できれば旧松菱を再利用できるというなと思っています。結婚して始めて浜松に住むことになったのですが、義母にとって「街に飛んで行く」ということは急いで松菱に買い物に行くということでした。その象徴的な建物を歴史的な建物として生かしても良いのではないのでしょうか。
- ・ 中心市街地活性化には論を待たないが、具体的な論議をすべき、その芯になるのは松菱跡地です。ここを具体的に、地権者を交えて論じ、着手することが必要。
- ・ 松菱跡地を考えることが町の活性化になると思います。
- ・ 松菱跡地に美術館、図書館、産業歴史博物館などを含めた市役所、区役所を建てたら良い、一日の出入り人数が8000人位あると思われる。
- ・ 市役所+公共施設を松菱跡地へ。
- ・ 松菱跡地をなんとかしてほしい。
- ・ 松菱跡地を再生させること、商業と住居が一体化したビル、シンボルタワー的なもの、高齢者などが住みやすいマンション(車不要)、商業施設でパルコや東急ハンズなど若者向けのを誘致。

提案15 夜間人口の回復を目指すべき

- ・ 昼間人口、夜間人口が一定以上ないことで魅力が生まれぬ。かつての人口密度に戻すべき政策が必要ではないか。
- ・ 生活するのに便利な街、住んで楽しい街。生活する人を増やす為の誘導、規制を行なう。
- ・ まちなかに人を住ませることが必要。体育館跡地にアパートを作って若者を住ませたら良い。

提案16 既存の施設のネットワーク化を図り、都心の魅力を高めるべき

- ・ 街中に浜松まつり第二会館的なもの(年中無休・一切無料)がありますが、これをもっとPRして見に来てほしいし、活気づけてほしいです。
- ・ 浜松の都心の図を改めて見ると、人が集まるような資源となりうるものはあると思います、浜松駅を中心に浜松城公園、馬込川、文芸大、zazaなど点在しているものを、ネットワークに歩いて楽しくすべき、アクト北側の公園通りは何とつながっているのか、点や線はあるのに面になっていないのが残念。
- ・ 街を歩く為の仕掛けとして、博物館などを結ぶ、まちあるきマップの作成とPRを行なう。

提案17 ユニバーサルデザインを進め、高齢者や障害者でも来たくなる都心を目指すべき

- ・ 子育てや福祉がもっと入り込んで良いのではないのでしょうか？ 商業だけが街づくりではないと思います。
- ・ 年金族が月2回位はバスに乗って中心街行きたいと思う街づくりを検討すべき。
- ・ 車中心社会を改め、歩行者、自転車移動できるよう整備する。
- ・ 他の都市より、バリアフリーを倍増し有名にする。
- ・ あらゆる年齢層の人が居て幸せだと思える場所。
- ・ 年寄り、子供、外国人、障害者、誰もが楽に行け、それぞれの需要に答えられる店、商品を揃え、歩行者、ベビーカー、車イス、自転車を上手く取り入れる。
- ・ 車を用いない人々が住みにくい。老人や車に乗らない人々は街中に住んでいても買い物さえ不便である
- ・ 高齢者が必要とする望む店舗等の招致(バス・電車は浜松駅に乗り入れるので運転しない高齢者の利便を図る)、歩行者重視の道路交通網、屋外でのんびりできるように夏季には木陰になる様な休憩場所の設置、中心市街地活性化の為の事業費の廃止や補助金の削減等見直しする。(お金をかけても再生できるものでもないと思う)

提案18 魅力あるイベントの開催により、ワクワクする都心を目指すべき

- ・ 休日出掛けるとワクワクするイベントがある。
- ・ 以前も、この問題のフォーラムに行きましたが面白い提案がありました。1つにはオートバイレースをしたらどうかでした。
- ・ 市街にある(あった)祭りの活用はいかがでしょうか(鴨江寺、大安寺、五社神社等)。